

第 24 回大学対抗背比べ

出場選手

- 1 中村晴翔（なかむらはると） 明治大学 2 年。172cm
- 2 高木照英（たかぎしょうえい） 中央大学 4 年。168cm
- 3 木之本連（きのもとれん） 法政大学 3 年。178cm
- 4 岡部航世（おかべこうせい） 成蹊大学 1 年。170cm
- 5 新開 旭（しんかい あさひ） 法政大学 3 年。173cm
- 6 寺島渉（てらしま わたる） 大東文化大学 2 年。177cm
- 7 松岡千隼（まつおかちはや） 神奈川大学 3 年。167cm。
- 8 江副太陽（えぞえたいよう） 上智大学 4 年。176cm。
- 9 室井駿（むろいしゅん） 専修大学 2 年。180cm。
- 10 石田漣（いしだれん） 国学院大学 2 年。175cm。
- 11 桑原凜久（くわばらりく） 東洋大学 3 年。182cm。
- 12 今給黎駿（いまきゅうれいしゅん） 駒澤大学 3 年。166cm。
- 13 安藤凪生（あんどうなぎお） 早稲田大学 1 年。189cm

14 槇野透真（まきのとうま） 慶應義塾大学 3 年。190cm

15 千田空良（せんだそら） 日本体育大学 2 年。175cm。

16 平良悠希（たいらゆうき） 帝京大学 4 年。179cm。

BLACK SCREEN

SUPER: せいくらべ【背比べ】

背の高い低いを比べること。また、背の高さを競い合う遊び。

INT. 市民ホール - 会議室-昼

垂れ幕が掲げられている。

「第 24 回 大学対抗背比べ 抽選会」

室内には選手と関係者あわせて 30 名ほど。

一同の前にマイクを手にした進行役の男が立っている。

長机の上にはくじ箱が置かれており、背後のホワイトボードには空欄のトーナメント表。

ざわつきは小さく、空気はどこか張り詰めている。

進行役

ではこれより第 24 回大学対抗背比べの抽選会を開始いたします。

トーナメント表は全 16 枠。

中央の「決勝戦」を境に、左右に 8 人ずつのブロック。

1 から 16 までの番号が割り当てられている。

進行役（つづけて）

今から名前をお呼びしますので、呼ばれた選手はこちらへお越しください。順

番にくじを引いていただき、その番号に従って対戦カードが決定します。

進行役、手もとの資料に目をやる。

進行役（読み上げる）

法政大学三年、新開旭（しんかいあさひ・20）選手。

新開

はい！

新開、大きな返事をし、立ち上がる。

新開、ゆっくり前方へいく。

無言でくじ箱に手を入れる。

札を取り出し、「5」の札を掲げる。

スタッフがトーナメント表の5番に「新開」と書かれたマグネットを貼る。

新開、席へ戻る。

進行役

中央大学四年、高木照英（たかぎしょうえい・21）選手。

高木

はい。

高木、立ち上がり、前方へ。

くじを引き、「2」の札を掲げる。

高木、席へ戻る。

スタッフが2番に高木の名前を貼る。

進行役

早稲田大学一年、安藤凪生（あんどうなぎお・18）選手。

安藤、悠然と立ち上がる。

屈強な肉体に加え、目を引く高身長。

静かに壇上へ上がり、「13」の札を引く。

安東、席に戻る。

トーナメント表の13番に「安東」。

進行役

大東文化大学二年、寺島渉（てらしまわたる・19）選手。

寺島

はい！

寺島が前へすすむ。

寺島、くじをひき、「6」の札を掲げる。

先ほど「5」を引いた新開と対戦が決まる。

新開、かすかに表情が強張る。

以下、ダイジェストで、各選手のくじ引きの様子が映し出されていく。

－ 緊張感漂う空気。

- － 番号を掲げる選手たち。
- － 埋まっていくトーナメント表。

―――

ダイジェストが終わり、トーナメント表の八割が埋まる、
まだ大男安藤の対戦相手＝14 が空いている。

進行役

慶應大学三年、槇野透真（まきのとうま・20）選手。

牧野

はい。

槇野、端正な顔立ち。

スリムながら安藤に負けず劣らずの長身。

壇上へ上がり、「14」の札を引く。

安藤と槇野の対戦が決定し、場内が微かにざわめく。

安藤、表情を変えない。

―――

完成したトーナメント表が映し出される。

進行役

以上で抽選会を終了します。選手みなさんはこちらへお集まりいただき、

番号順にお並びください。

16人の選手が横一列に並び立つ。

一目でわかる身長差。

一目でわかる勝ち負け。

とりわけ目立つのは、安藤と槇野。

隣り合う二人、他の選手より頭ひとつ飛び抜けている。

身長が互角で、この二人のみ、勝ち負けがわからない。

INT. 体育館の入口 - 朝（数日後）

SUPER: 大会初日

「第 24 回大学対抗背比べ」と書かれた立て看板。

その横を、パフレットを手にした観客たちがゆっくりとくぐっていく。

INT. 体育館・室内 - 朝

バスケットコートほどの広さ。

磨かれた木の床が、照明に白く反射している。

観客席には各大学の応援団、保護者、友人たちの姿が見える。

会場全体に、静かな緊張が漂っている。

———

SUPER: 開会式

壇上には、マイクを持った運営スタッフ（50 代男性）。

スタッフ

選手、入場。

控えめな拍手が起こる。

場内アナウンスの声にあわせて、選手たちが一人ずつ入場する。

大学名と名前が読み上げられるたび、会場のスクリーンにアップで映し出される。

選手たちは無言で、決められた立ち位置へと歩いていく。

順に並んでいく 16 人の選手。

誰もが背筋を伸ばし、どこか硬い表情をしている。

足音だけがコートに響く。

―――

列が完成し、ジャージ姿の 16 人が、まっすぐに前を向いて立つ。

身長凹凸が、視覚的にくっきりと浮かび上がる。

スタッフ

選手宣誓に移ります。代表して、法政大学三年、新開旭選手、前へ。

新開、前に出てマイク前に立つ。

新開

宣誓。我々選手一同は、ルールを守り、正々堂々と勝負することを誓います。

静かな拍手が起こる。

スタッフ

次に競技ルールとその他注意事項をお伝えします。

台本を手に、やや硬い口調で続ける。

スタッフ

本大会は、1対1の対決形式で身長を測定し、背の高い方が勝者となるトーナメント方式です。測定は専用機材を用い、審判員が公式記録をもとに勝敗を判断します。姿勢は正立、かかとは壁に合わせ、帽子・髪型などによる“かさ増し”は禁止となっております。計測後、勝敗が確定したのち、次の試合へと進行します。

少し間を置いて、

スタッフ

また、会場内は高温となっておりますので、選手の皆さんは各自こまめな水分補給を心がけてください。体調不良を感じた場合は、無理をせず、近くのスタッフに申し出てください――

――

試合前。

選手たち、コートで、コートで、スマホをいじったり、話をしたり、リラックスした様子。

体育館中央は試合エリア。

白線で囲まれた測定区画の中に、身長計が設置されている。

脇にはトーナメント表の大きなパネル。

――

SUPER: 第一試合

試合エリア。

中村 晴翔（なかむらはると・19）と高木、向かい合っている。

そばに数人のスタッフ。

まず、中村が身長計の台の上に立つ。

スタッフの一人が身長を測る。

スタッフ

172 センチ。

中村、身長計から降りる。

一礼し、元の場所に戻る。

続いて、高木、身長計の台に立つ。

身長が読み上げられる。

スタッフ

168 センチ。

高木、身長計から降りる。

一礼し、元の場所に戻る。

スタッフ

中村選手の勝ち上がり。

スタッフの一人、トーナメント表の欄に「172 - 168」と記入。

場内アナウンスが響く。

アナウンス (V.O.)

続いて、第 2 試合を行います。

———

SUPER: 第二試合

木之本連（きのもとれん・21）と岡部航世（おかべこうせい・18）、向かい合っている。

木之本、身長計の台の上に立つ。

スタッフの一人が身長を測る。

スタッフ

178 センチ。

木之本、身長計から降りる。

一礼し、元の場所に戻る。

続いて、岡部、身長計の台に立つ。

身長が読み上げられる。

スタッフ

170 センチ。

岡部、身長計から降りる。

一礼し、元の場所に戻る。

スタッフ

木之本選手の勝ち上がり。

スタッフの一人、トーナメント表の欄に「178－170」と記入。

以下、ダイジェストで第3試合～第6試合が映し出される。

第3試合。

新開と寺島が向き合う。

結果は「173－177」。

新開、敗れる。

第4試合。

松岡千隼（まつおかちはや・20）と江副太陽（えぞえたいよう・21）。

結果は「167－176」。

勝った江副、一礼する。

第5試合。

室井駿（むろいしゅん・19）と石田漣（いしだれん・19）。

トーナメント表に「180－175」と結果が書かれる。

第6試合。

桑原凜久（くわばらりく・20）と今給黎駿（いまきゅうれいしゅん・20）。

「182- 166」で桑原が勝つ。

桑原、軽く笑みをこぼす。

———

アナウンス (V.O.)

続いて、第7試合を行います。

SUPER: 第7試合

安東と槇野、ひときわ目を引くふたりの大男が向き合う。

二人とも、堂々たる立ち姿。

観客、息を吞んで試合を見つめている。

まず、安東が身長計の台の上に立つ。

スタッフの一人が身長を測る。

スタッフ

189センチ。

安東、身長計から降りる。

軽く一礼し、元の場所に戻る。

続いて、牧野、身長計の台に立つ。

身長が読み上げられる。

スタッフ

…190 センチ。

牧野、身長計から降りる。

深々と一礼し、元の場所に戻る。

スタッフ

牧野選手の勝ち上がり。

スタッフの一人、トーナメント表の欄に「189 – 190」と記入。

安東、無表情のまま去っていく。

館内の拍手は控えめだが、重い。

———
一回戦の全試合が終了する。

対戦結果が記されたトーナメント表が映し出される。

INT. 体育館・室内 - 朝

SUPER:大会二日目

コートでは二回戦の第一試合が行われている。

中村と木之本の対戦。

中村、身長計で身長を測っている。

客席には一回戦で敗れた新開の姿がある。

声

よう

後ろから声をかけられる。

新開、振り向くと、堂前獅音（どうまえしおん・24）が立っている。

新開

…先輩

EXT. 体育館・裏手 - 同時刻

蝉の声が轟く。

風が少しだけ吹いている。

新開と堂前、缶ジュースを手にして立っている。

二人、同じくらいの身長。

堂前

試合、見てたよ。お疲れ。

新開

…ありがとうございます。

新海、缶ジュースを飲み干し、ぽつりと漏らす。

新開

四連覇したんですよ。先輩は。

堂前

…俺の場合、運がよかっただけだ。

言い切って、堂前は校舎の壁にもたれかかる。

沈黙が続く。

INT. 体育館・室内 - 昼過ぎ

新開、戻って来る。

本日の試合、終わっている。

EXT. 体育館・外 - 午前

SUPER:大会三日目

激しい雨が降っている。

空が光り、雷鳴が轟く。

ナレーション (V.O.)

準決勝は大荒の天気の中での試合となった。

INT. 体育館・コート - 午前

雷雨のため、観客はまばら。

静かな声援の中、アナウンスが入り混じる。

アナウンス (V.O.)

準決勝第 1 試合を行います。

試合エリア。

木之本と寺島、向かい合っている。

まず、木之本が身長計の台の上に立つ。

スタッフの一人が身長を測る。

スタッフ

178 センチ。

木之本、身長計から降りる。

一礼し、元の場所に戻る。

続いて、寺島、身長計の台に立つ。

身長が読み上げられる。

スタッフ

177 センチ。

寺島、身長計から降りる。

一礼し、元の場所に戻る。

スタッフ

木之本選手の勝ち上がり。

スタッフの一人、トーナメント表の欄に「178－177」と記入。

場内アナウンスが響く。

アナウンス (V.O.)

準決勝第 2 試合を行います。

――

試合エリア。

牧野と桑原、向かい合っている。

まず、牧野が身長計の台の上に立つ。

スタッフの一人が身長を測る。

スタッフ

190 センチ。

牧野、身長計から降りる。

一礼し、元の場所に戻る。

続いて、桑原、身長計の台に立つ。

身長が読み上げられる。

スタッフ

182 センチ。

桑原、身長計から降りる。

一礼し、元の場所に戻る。

スタッフ

牧野選手の勝ち上がり。

スタッフの一人、トーナメント表の欄に「190－182」と記入。

アナウンス (V.O.)

準決勝の結果が出ました。決勝戦は明日 10 時より行います。

EXT. 体育館・外 – 午前

SUPER:大会最終日

晴れあがった青空。

眩しい陽射しが降り注いでいる。

INT. 体育館・室内 - 午前

昨日とは打って変わって、賑やかな観客席。

館内に拍手と声援が響き渡る。

コートで、3位決定戦に向けて、寺島と桑原がストレッチしている。

寺島

…なんで銅メダルまでしかないんだろうな。

寺島、屈伸をしながら桑原をちらりと見る。

桑原、寺島を不思議そうに見返す。

寺島

いや、1位をプラチナメダルとかにして、4位までメダルもらえてもよくない

かなって。ベスト4なんだし。

桑原

…昔は価値がある金属が金銀銅の三つだけだったから、メダルの数もそうなっ

たって聞いたことあるけど。あと加工しやすいものもあるらしい。

寺島、沈黙し、ジャンプを始める。

桑原

え。そういう話じゃなくて？

寺島

いや、この試合に負けたら合コンに持っていけないじゃん？ メダル。

桑原

あー。

二人、笑う。

寺島、腕を伸ばしながら、

寺島

なんつーか、結局はルール次第だなんて。まー当たり前なんだけど。

―――

SUPER:三位決定戦

アナウンス (V.O.)

三位決定戦を行います。

試合エリア。

寺島と桑原、向かい合っている。

まず、寺島が身長計の台の上に立つ。

スタッフの一人が身長を測る。

スタッフ

177 センチ。

寺島、身長計から降りる。

一礼し、元の場所に戻る。

続いて、桑原、身長計の台に立つ。

身長が読み上げられる。

スタッフ

182 センチ。

桑原、身長計から降りる。

一礼し、小さくガッツポーズをする。

スタッフ

3 位は桑原選手です。

スタッフの一人、トーナメント表の欄に「177 – 182」と記入。

場内アナウンスが響く。

アナウンス (V.O.)

決勝戦を行います。

———

試合エリア。

木之本と牧野、向かい合っている。

まず、木之本が身長計の台の上に立つ。

スタッフの一人が身長を測る。

スタッフ

178 センチ。

木之本、身長計から降りる。

一礼し、元の場所に戻る。

続いて、牧野、身長計の台に立つ。

身長が読み上げられる。

スタッフ

…190 センチ。

牧野、身長計から降りる。

一礼し、元の場所に戻る。

スタッフ

優勝は槇野透真選手です。

会場に大きな拍手が響く。

———

SUPER:閉会式ステージ

16 人の選手たちが壇上に立っている。

観客席には関係者や家族の姿。

堂前の姿もある。

司会がマイクを握る。

司会

すべての選手に敬意を表し、これより表彰式を行います。

司会、一拍置き、

司会

1 位。慶応義塾大学、槇野透真。記録、190 センチ。

牧野、一步前出る。

表彰者が牧野の首に金メダルをかける。

牧野、笑顔で金メダルを見つめる。

司会

2 位。法政大学、木之本連。記録、178 センチ。

木之本、一步前出る。

表彰者が木之本の首に銀メダルをかける。

木之本、笑顔で銀メダルを見つめる。

司会

3 位。東洋大学、桑原凜久。記録、182 センチ。

桑原、一步前出る。

表彰者が桑原の首に銅メダルをかける。

桑原、笑顔で銅メダルを見つめる。

司会

以上をもちまして閉会式を終了します。

拍手。

———

スタッフが壇上に上がり、記念写真のための立ち位置を指示している。

牧野たちメダリストは中央、その他の選手はその外側に立つ。

カメラの前、選手 16 人が横一列に並んでいる。

身長凹凸が、視覚的にくっきりと浮かび上がる。

一目でわかる身長差。

一目でわかる勝ち負け。

END